

川崎市立はるひ野小学校、はるひ野中学校視察報告

1 視察概要

- (1) 視察日時：令和7年1月28日（火）14時～16時
- (2) 参加者：大根中学校区学校整備懇話会委員、委員外PTA役員、大根中学校区教職員、市職員 計25名

2 川崎市立はるひ野小学校、はるひ野中学校について

- (1) 所在地：川崎市麻生区はるひ野4丁目8番1号
(小田急多摩線「はるひ野駅」)

- (2) 学校設立の背景

川崎市麻生区黒川・はるひ野地区に、街づくりの核となるべき公共施設として、小学校の新設が予定された中、地域の要望により中学校も同時に建設することとなる。

学校建築の有識者を加えた基本計画検討委員会での協議をした中で、当時は義務教育学校や小中一貫校が制度化されていなかったことから、平成20年4月に小中連携校として開校した。

校舎内に地域交流センター、わくわくプラザを設け、学校が地域コミュニケーションの核として機能できる整備を行っている。

3 学校概要

- (1) 学校規模（令和6年5月現在）
 - ア 小学校：28学級（771人）
 - イ 中学校：15学級（372人）
 - ウ 学年段階の区切り：4－3－2

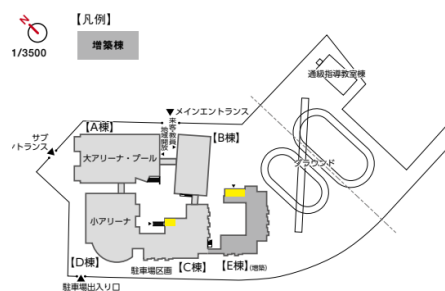
- (2) 教育上の特色

教育目標は「知力」「心情」「体力」「小中連携」がキーワード。

各種行事を小中合同で行うほか、日常的に異学年を招待して行う授業の実施など、児童生徒が自然に交流できる活動を積極的に取り入れている。

- (3) 学校運営（マネジメント体制）

学校ごと（小・中）に校長が配置されており、適宜連携を図っている。管理職を除く全教職員に対して兼務発令がされており、9年間を通して児童生徒の成長を見守っている。



4 視察当日について

(1) 視察の様子



(2) 参加者感想

- ・ 懇話会でも議題に上がっていた「施設面」について、実際の学校の様子を見学できたことにより、1日も早く大根地区に新しい学び舎が誕生して欲しいという思いが強くなった。
- ・ 校舎全体が開放的な空間設計になっており、学年を超えた交流が自然に生まれる環境が整っている点に感動した。
- ・ 教室のドアや廊下等、ガラスを多く用いて、開放感あふれていたこと。等参考になることが多かった。
- ・ 学校経営計画が一本化されグランドデザインに示されており、義務教育9年間を見通した中での教育活動を展開していると感じる。
- ・ ミーティングルームや個別対応できる学習室のような部屋があるなど、普通教室以外の特別教室が充実しており、インクルーシブな教育活動を行う上でも有効であると感じた。